

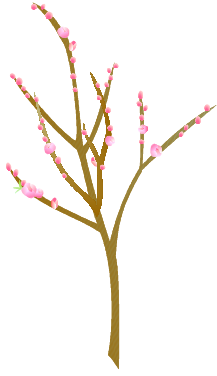
東っ子

山梨一
明るい
東小学校
2月号

一歩前へ!

二月になりました。春めいてきたからと、着物を一枚脱いだとたん寒さが戻ってきて、衣を更に着直す時期という事で、「着更衣(きさらぎ)」と呼ばれたそうです。

また草木が再び芽生えることから「生更ぎ」という説もあるようです。「きさらぎ」は、一般には「如月」と書きます。二月の呼び方は、他にも「梅見月」「雪消し月」「木芽月」などがあります。どれも春の訪れを感じさせる言葉です。堅い土から春色の土に変わり、いつのまにか寂しかった木々につぼみが一つ二つつき、厳しい寒さが続く中にも春の訪れを感じてきました。



自然は少しずつ動いていきます。東小学校も一歩ずつ着実に前へ進んでいきたいと考える今日この頃です。

児童会活動の締めくくり

今年度の児童会活動を締めくくる第二回児童総会が八日(木)・九日(金)に行われました。インフルエンザの予防や異常寒波による寒さ対策のため、各クラスの意見を代表者が持ち寄り、代表委員会形式で行われました。



「咲く」のテーマのもと、東小に明るい笑顔を咲かせるための「あいさつ運動・きまりを守る」、東小に思いやりの心を咲かせるための「無言清掃・いじめゼロ・エコボラ・心の木」、東小にきずなを咲かせるために「たてわり活動・集会・委員会活動」などについて、多くの成果が出されました。「山梨一明るい学校づくり」に向けて児童会に、大きな拍手を贈ります。

バトンパス

児童会活動のバトンパスを意味する児童会役員選挙が先月実施されました。こちらにもインフルエンザ対策のために立会演説会はテレビ放送で行いました。四・五年生の各クラスの推薦を受けた立候補者と責任者が、自分の考えをノー原稿で伝えていました。昨年度も感じたことですが、これほど堂々とした態度で、明確なビジョンをもつて全員が演説を行うことのできる東小の子どもたちにとっても感動しました。



きつと、二学期末から候補者決め、三学期になってからの選挙活動を通じて「自分の手で未来の東小学校を創る」という自覚と、六年生やクラスのみんなから応援してもらおうこと、「未来の東小を担う責任」を練り上げられたからだと思えます。創立六十年の「ミレニアムな東小」づくりに向けて、今回の選挙運動を通して学級が、三・六年生がまとまっていくことはとても素晴らしいと思えました。

長縄にチャレンジ

「山梨一明るい学校」であるためには、元気で健康な身体も欠かせません。そこで、体育委員会主催で「東っこタイム長縄跳び大会」を実施しています。クラスで、長縄で八の字跳びを行い、三分間で何回跳べたかを競います。



チャレンジの計測結果は、職員室前の廊下に掲示してありますので、ご来校の際には、ぜひご覧になってください。

冬季国体観戦

創立六十年となる今年度は、特別な大きな行事は実施しません。その時々に応じた行事を組んでいきたいと考えています。その一環として、五・六年生が、山梨で開催された

とうふのイベント

冬季国体の少年女子フィギュアスケートを観戦してきました。全国のトップアスリートによる演技は、技術、迫力、真剣な眼差し等、格段に違いました。子どもたちは、大きな感動を心に刻むことができましたと思います。

『ハッシー倒せ! 2018』が、とうふの会の主催で東小学校の体育館で行われました。

まずは、全員によるOXクイズでスタートしました。その後は、各ブロックに分かれて、的当て・キックによる段ボール崩し・靴飛ばし・重さ当てクイズ等を制限時間内でいくつクリアできるかを競いました。

ゲーム終了後、とうふの会の橋口会長から団体と個人賞の表彰もありました。どの種目もとてもよく工夫されていて、楽しいものばかりでした。

今後、多くのの方のとうふの会への協力をよろしくお願いします。

